

らぼーる図書室だよ!

★おすすめの本(11月1日現在)

刊年	内容	タイトル・著者名	出版社	分類
2014	★	天に星地に花／帚木 蓬生	集英社	913.6
2014	★	闇に香る嘘／下村 敦史	講談社	913.6
2014	★	荒神／宮部 みゆき	朝日新聞出版	913.6
2014	★	神の子 上・下／薬丸 岳	光文社	913.6
2014	★	明日の子どもたち／有川 浩	幻冬舎	913.6
2014	★	片づけなきや親の家／杉之原 富士子	講談社	597.5
2014		銀翼のイカロス／池井戸 潤	ダイヤモンド社	913.6
2014		杉下右京のアリバイ 杉下右京シリーズ4／碓 卵	朝日新聞出版	913.6
2014		遺譜 上・下 浅見光彦の最後の事件／内田 康夫	KADOKAWA	913.6
2014		捜査組曲 東京湾臨海署安積班／今野 敏	角川春樹事務所	913.6
2014		春の庭／柴崎 友香	文芸春秋	913.6
2014		幻の翼・砕かれた鍵・よみがえる百舌 モズシリーズ／逢坂 剛	集英社	913.6
2014		「食べてはいけない」「食べてもいい」添加物／渡辺雄二	大和書房	498.5
2014		和歌山カレー事件 獄中からの手紙／林 眞須美	創出版	916

* が付いている話題の本の内容については、下記に記載しています。

913 天に星地に花／帚木 蓬生

逃げ出すわけにはいきません。前ば向いて生きんこつには。人間は、ここぞと思うときに、命ばかけなきやならん。幕府に翻弄される庄屋、圧政に苦しむ百姓、身命を賭して民を守る名君。久留米藩を舞台に、医師を志す若者の成長を描き、名も無き人々への慈愛に満ちた作。

913 闇に香る嘘／下村 敦史

27年間兄だと信じていた男は何者なのか？村上和久は孫に腎臓を移植しようとするが、検査の結果、適さないことが分かる。和久は兄の竜彦に移植を頼むが、検査さえも頑なに拒絶する兄の態度に違和感を覚える。中国残留孤児の兄が永住帰国をした際、既に失明していた和久は兄の顔を確認していない。

913 荒神／宮部 みゆき

東北小藩の山村が一夜にして壊滅する「怪物」は、なぜ現れたのか？北の民はどう立ち向かうのか？山は飢え、怒っている。恐ろしいのに、なつかしい超大型時代小説。現代を生きる私たちに勇気を届ける。

913 神の子 上・下／薬丸 岳

殺人事件の容疑者として逮捕された少年には、戸籍がなく、一方で、知能検査ではIQ161以上を記憶した。孤独な天才児と彼にかかわる人々とのドラマ、背後にうごめく呪われた陰謀。天才的頭脳と、絶望的な孤独。授けられたのは、それだけだった。

913 明日の子供たち／有川 浩

想いがつらなり響く時、昨日と違う明日が待っている！児童養護施設を舞台に繰り広げられるドラマティック長編。諦める前に、踏み出せ。思い込みの壁を打ち砕け！

913 片づけなきや親の家／杉之原 富士子

65歳以上の親を持つ何千万人もの人が5年後に直面するモノとの戦い。親の家・自分の家未来のためにモノと向き合う「捨てる」より「分ける」片づけ。